

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院障害児病床に、気管切開管理を要する医療的ケア児で入院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 小児科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、愛仁会リハビリテーション病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

気管切開からの離脱に関する後方視的研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院
診療部長 李 容桂

3. 研究の目的

周産期新生児医療や小児救急医療の進歩とともに、医療的ケア児は近年著しく増加してきています。愛仁会リハビリテーション病院では2011年7月に障害児病床「ひまわり」を開設、隣接する急性期病院と緊密な連携のもと重症児・医療的ケア児に対して長期入院による在宅移行支援や短期入院による在宅ケア支援を継続してきました。過去12年間（2011～2023年）における気管切開患児114例の基礎疾患・気管切開術・初診からの臨床経過・長期予後などを調査するとともに、気管切開離脱例の病状経過や離脱に関連した要因を明らかにします。医療的ケア児支援法が2021年に公布され、医療的ケア児を社会全体で支援することが法的に明記されており、本研究内容がコーディネーターを含めた医療福祉教育関係者へ情報共有されることは医療的ケア児及びその家族への支援において有益であると思います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

気管切開管理を要する医療的ケア児で、2011年7月7日から2023年12月10日までの期間中に当院障害児病床「ひまわり」に短期・長期入院利用された方です。

(2) 利用させて頂く情報

本研究で利用させて頂くデータは、気管切開術、基礎疾患、気管支鏡検査、他の外科手術、気管切開から抜管までの病状経過、長期予後に関する情報です。

(3) 方法

電子診療録より、気管切開術、基礎疾患、気管支鏡検査、他の外科手術、気管切開から抜管までの病状経過について調査するとともに、気管切開から離脱可能となった要因等についても検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

開示すべき利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町 5-7

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 小児科 担当医師 李 容桂

TEL : 072-683-1212 FAX : 072-683-1272

E-mail : ri.youkei@aijinkai-group.com